

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	いしかわ のりこ		
氏名	石川 紀子		
所属	(株)グルー・アンド・カンパニー		
役職	代表		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	104-0061 東京都中央区銀座4-14-4-605
	電話番号		
	メールアドレス	n.ishikawa@mm.em-net.ne.jp	
キャッチコピー	集客・関係人口づくりの意外な入口みつけます。(首都圏・海外からの視点に強みあり)		
自己PR	<p>長年旅行業界でテーマツアーおよび商品企画を担当し、あらゆる分野の集客に経験があります。通常観光の他、一般になじみの薄い素材の魅力的な見せ方を考えるのが得意です。</p> <p>地元側の「見せたいもの」と、訪問者の「見たい、知りたいもの」のギャップを埋めベストマッチングの役割を担います。インバウンドに対してもテーマ・ターゲットに合わせた素材組み立てや発信資料制作アドバイス、各国語翻訳にも取り組んでおり、複数言語の独自の通訳翻訳チームを擁しています。(ネイティブ含む)</p> <p>企画提案のほか集客までの実務、人材トレーニング、ビジュアル製作、広報などのトータルサポートも可能。</p> <p>歴史、文学、史跡、民俗、古典芸能、近代遺産、戦跡、地域産業、環境、伝統文化などの「人と地域のストーリー」による集客ターゲットの見極めや、案件に適した専門家(デザイン、ランドスケープ、各国語発信、映像等)とのチーム編成もいたします。</p>		
関連ホームページ	名称		アドレス
	バイオマスツアー真庭		http://www.biomass-tour-maniwa.jp/ (岡山県真庭氏)
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p><経歴> 東京都出身(北関東、関西居住経験あり)～2002年 17年間大手旅行会社勤務 法人・公務マーケットおよび、各種旅行商品造成など多分野を担当 業界初の行政タイアップのグリーンツーリズム商品企画を担当</p> <p>2006年 グルー・アンド・カンパニー設立(ひと・地域・文化をつなぐ仕事をめざす) JETRO産業交流事業コーディネーター(日中コンテンツ産業マッチング アニメ)</p> <p>2006年～現在 ふるさと財団地域再生マネージャー登録 現在まで各地で長期・短期のマネージャー担当(別記)</p> <p>2003～2016年 沖縄ひめゆり平和祈念資料館展示コーディネーターおよび集客・広報アドバイス 2006～現在 国内海外の映像制作サポート多数(日本各地の農水産物の魅力を海外へ発信する番組の翻訳10年以上担当)</p> <p><受賞歴> 2010年 地域再生マネージャー事業による「バイオマスツアー真庭」 新エネルギー大賞経済産業大臣賞 岡山県真庭市政策アドバイザー(主に観光分野)</p>		
● 観光	(○地域のストーリー再構成による集客と収益循環 ○産業観光の構築と発信 ○インバウンド対象国別素材アドバイス)		
● 移住・定住・関係人口	(○地域産業の体験や地域の食、テーマ観光を入口とする関係人口の継続可能なしくみづくり)		
● 農林水産業			
● 起業支援	()		
● まちなか再生	()		
● 集落再生	()		
● 環境			
● その他	(○歴史・文学・芸能・伝統産業などをテーマとした地域発信 ダークツーリズム(戦跡、負の遺産・マイナーな事柄などの生かし方)含む)		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家 (活用助成)	◆2006年度～08年度 岡山県真庭市 「バイオマス等他産業との連携による産業観光創出事業」		

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】地域再生マネージャー事業(3年間＋以降アドバイザー)</p> <p>(1)事業名 : 地域産木質バイオマスエネルギー循環をみせる新観光の立ち上げ(バイオマスツアー-真庭)</p> <p>(2)対象地 : 岡山県真庭市</p> <p>(3)事業目的: 産業観光の新規構築</p> <p>(4)事業内容: 全国に先駆けた地域の取り組み「木質バイオマスエネルギーの地域循環」をテーマに見学ツアーを立ち上げ一貫したフローを完成させた。林業専門家、環境志向の一般、小中高生の学習旅行、大学生含む研究者、行政担当者などのカテゴリー別に視察受け入れマニュアルや専用HP、見学資料を作成、説明およびガイド人材のトレーニングを実施。ツアーで提供する地域食の研究も綿密に行った。エネルギー循環を見せることで市内広域の林業、農業、酪農、商業、醸造の各事業者の連携する仕組みを作ること、交流の広がりによる住民の誇りと楽しみづくりも目的。</p> <p>(5)事業による成果: 15年以上進化しながら継続し、地域エネルギーへの注目とツアー集客の派生効果で移住者や関係人口増につながっている。受け入れのしやすさが定着したことで海外からの見学者や広域の教育旅行、シンポジウムの受け入れノウハウも蓄積した。市の有力広報コンテンツとしても機能し、地元観光や特産品、飲食や宿泊事業者が連携し経済効果にも寄与。世界的に再生エネルギーへの注目度が高まる中、行政と住民の協業による複数の事業が発生した。メディアやネットでの掲出頻度が上がり、訪問人口増加とリピーター(関係人口)化が実現している。各分野の事業者および住民の一体感や地域の活気も醸成された。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 : 山間部の集客素材発掘と観光しくみづくりアドバイザー</p> <p>(2)対象地 : 愛知県豊田市北部山間地域</p> <p>(3)事業目的: 過疎の県境地域の新規集客と経済循環</p> <p>(4)事業内容: かつて木材業で栄え、高度成長期の終わりを境に過疎化した山間地域の集客施策試行</p> <p>①特産品弁当の開発: 花見の時期に提供する食がなかったため、地域事業者に提案とともに試作に取り組み、地元では日常素材であるがため外来者に提供されていなかった山の幸や川魚を都市部の人々の趣向にあわせてアレンジして販売にこぎつけた。</p> <p>②着物・浴衣観光の試行: かつて賑わっていた頃の祭りで使用され各戸に眠っていた着物や浴衣を観光客が着用散策できるしくみにトライ。浴衣のための写真スポットづくりも手掛け、観光ルートの景観アップをランドスケープ専門家とともに提案</p> <p>③「川遊び体験」: 近年どこでも難しかった自然の川遊びイベントの提案と実施サポート(安全面・内容および募集技術)</p> <p>(5)事業による成果: ①は地元メディアでも取り上げられ注目された。②は交通不便の不利があったがメディアも含め徐々に域外に周知。借りる人、着せる人(地元町民)、関わる人(寺、飲食店、商店)などが連携した。最初の利用者が外国人というのもトピックのひとつ ③は都市部を中心に訴求力大。定員に達する企画となった。</p> <p>※②と③については同様事例を他地域でも、実情にあわせて集客・収益案のアドバイスを行った。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光資料やガイドツールの多言語化 (インバウンド対象国に合わせた観光素材の選定と媒体制作・翻訳アドバイス) ●TV番組制作サポート(国内・日本紹介海外向け放送 企画 翻訳 ロケサポート) ●ムスリム各種対応経験多数